

通信 組合	
府中稲城不動産 取引業組合 編集兼発行人 高野 豊次	
第 13 号 3 月 号 3 月 6 日 編集発行	

◎ 幹旋調書反対蹴起大会

二月十日午前十時より東連主催に依り日比谷公園に於て正規業者大約三千名が集合（当組合より二十四名参加）幹旋調書反対蹴起大会が催された。

先づ社会党横山代議士の名調子による挨拶に一同は魅了され拍手連続、続いて自民党菊池代議士、田中参議員議員其の他二・三諸先生の挨拶あり、石川委員長の宣言を最後に一時よりデモ行進に入る。日比谷公園より議事堂に至り衆参両議院に請願書を手渡し万才連呼の上、日枝神社に至り有意義に大会を終了した。

定例三月理事会開催

一、時 三月五日午後四時より

一、とろろ ダイワ不動産

一、出席者 山村・辻・高野・小林・結城

榎峠・田中・各理事及び加藤氏

要領次の通り

A 報告事項

(1) 幹旋調書問題の其の後の模様

幹旋調書に就いては主税局長と会談の結果先方としては二百万円を五百万円とするの案を提出したと云い或は自民党総務会に於ては本法の出直し又は徹廃を要求する等々話は区々であるが組合としては提出を拒否することを再確認し、状況に応じて対処することになりがないので各位は依然組合よりの指令を待つことにせられたい。

(2) 三多摩支部協議会等設立準備委員選任の件

四月一日より発足する業協会の三多摩支部協議会又は支部連合会（いずれも仮称）

の設立準備委員は理事長に於て然るべく人選をする旨報告あり。

業協会初の大会

東京都内業者を打つて一九とする業協会初の大会は来る四月二十八日午後一時より四時まで日比谷公会堂に於て施行する。出席者は各組合に割当制とするか、希望者のみの参加となるかは目下未定である。

B 協議事項

(1) 業協会支部設立に関する件

来る四月一日より発足する業協会に就いては府中稲城地区は既定通り府中支部として出発するものなるも同支部は現在の組合とその内容性格等は全く同一なるを以て、新に支部発足の手続をとることなく現組合が横江りすることに関し山村理事長より諮問あり各理事の意見としては後段による横江りを可とすることに意見が一致した。

(2) 春季懇親旅行の件

春季懇親旅行会に就き協議の結果次の通り実施することを決定した。

日時 三月二十四日（水）二十五日泊二日

旅行先 伊豆連台寺温泉

出発集合場所 三月二十四日午前八時 大國魂神社（貸切バス）

旅費 一人 三千五百円各自負担

申込 三月十五日迄に旅費を添え担当理事に申込（店主、従業員、家族可）

尚これが下検分のため加藤・辻・榎峠の

三氏が近く実地に赴くはずである。

人と店

稲城長沼駅前地の利を得た所に大丸不動産がある。代表者は石黒善弥氏であるが同氏は常に建築方面に忙殺されおる為事実上の大丸不動産代表は長島春吉君である。

長島君は明治四十四年川崎大師に産れ当年五十四才、川崎工科学校電機科を卒業後いすずチーゼル検査課に勤めたが、のち応召し

満州牡丹江等に転戦した。終戦後は例によりシベリヤで抑留生活をしたのち、北海道に渡り、郵便局に奉職、郵政事務官をつとめた経験もある。

昭和三十五年石黒氏の要請に応じ大丸不動産に就職したが氏のよさを一言にしていふならば温厚実直、しかも不動産屋らしきくさみが無いことで流石は石黒氏の目に叶い、業務一切を委ねられる実力者である。特に石黒氏は当組合の副理事長として組合関係の仕事が多いが、すべてこれを代行し、何等不足らしき顔一つ見せることなく営々としてかげで努力するその様は長島氏ならではのやれぬ芸当であり同氏の人となり物が物と言っている。不動産業務も既に五年に垂々とし相当な経験者であるので自重自愛今後の健闘を望む次才。

## 環流

この組合の当初の出発は単なる懇親会で、云ふならば飲み食い会或は旅行会にすぎなかつたかもしれないし、筆者が知っている範囲でもそれと大差なかつた様に思われる。

そうした観点から入会に就いても組合員の紹介を必要とし理事会でこれを認めぬ限り組合員に加入することが出来なかつた様である。然し最近の組合の在り方考え方は誰云ふことなく相当に変つてきている。

即ち単なる懇親会より更に延長して職域の団体を強く意識する様になつてきた。

いふなれば食ふことや旅行の会も大事だがもつと至上の職域の切磋とか助け合いとかが必要となつてきたからである。最近の新規入会は正規の業者である以上大いに歓迎するといふ具合で、人によつて、より好みしないところが従来の組合と聊か變つている。そして一旦加入すればみんなが兄弟同然、すべての面倒をみるのが当然である。たとえそこに若干の個人的或は内部的に落度があつたとしてもそれを盾に攻めるべきでもなく又律すべきでもない。

要は攻めたり律す前に組合員同志で切磋し善導することこそ真の組合の使命でもなければならぬ。

### ◎ 組合より市長に書翰

二月五日付理事長名を以て府中矢部市長に對し次の書翰を提出した。

拝啓 春寒の候益々御清栄お慶び申し上げます。扱て弊組合と設立以来僅かに三年の歳月を経ただけであります。今や府中稲城所在の正規登録業者三十八名を擁する有力団体と相成りました。

然かも本組合は今次取引業法改正に依り来る四月一日より社団法人宅地建物取引業協会の傘下に移行加入することゝ相成り一方、従来の登録制が免許制に切換えられるなど今や社会的経済的にも重要視される時が参りました。

もとより組合員と致しましてはこれが変転する諸情勢に對処する為従来以上に品位の向上と信義誠実の実を挙ぐることに努力し、常に切磋琢磨、聊かの過誤なきを期し精進致しておる次才で御座います。

就きましては今後に於て御市が直接不動産を売買相成る場合、又は工場団地等誘致による御市間接斡旋等の場合も少からずと存じますのでその節は多少に拘らず是非共弊方に御用仰せ付け賜る様願ひ度く従来の経緯も有之かと存じます。が何分の御配慮を賜ればこの上もない幸と存じます。

先は右当用具申まで申上げます。

敬具

昭和四十年二月五日

### ◎ 組合員入会

立川不動産 先に脱退のところ今回再度開業につき入会

大貫不動産 稲城町に於て新に開業につき入会

### 編輯後記

○はや三月となつた。今年に入つてからは、斡旋調書・業協会の設立等で組合も仲々の多忙。

○然し理事各位はみんなが健闘している。唯一・二の理事が皆目最近の理事会に出席しないのはどういふわけか？

○理事は組合員を代表しておるのであるから努めて理事会には出席してほしいものである。

昭和四十年三月五日夜

この編輯を終りて 高野 豊次